

令和5年度 2月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	17回
2	延べ従事補導委員数	70人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	197人



手作りひな人形
平根児童館 職員・児童作成

2月の補導日誌から

2月1日(木) 1班(S・K) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームセンター

補導の様子

2月の初日、西風が大変冷たい午後でした。市民交流ひろばの遊具施設付近からは、幼い子どもたち4、5人の元気な声が聞こえてきました。未就学児でしょうか、親たちが近くで見守っていました。つどいのひろばでは、2歳くらいのお子さんを連れた母親に声をかけました。ミレニアムパーク内のプレイサークルでは、男子2名がバスケットボールをしていました。1名は中学3年生で、公立高等学校の前期選抜検査を終えたばかりだと話してくれました。また、もう一人は高校1年生で、同じく前期選抜のため、学校が休みになったとのことでした。特に問題はなく、寒風の中、寒さをものともせず、バスケットボールを楽しんでいました。佐久平駅内のフリースペースでは、数名の若い人たちがスマートフォンを見たり、学習したりして、思い思いに過ごしていました。大型スーパーのゲームコーナーやフードコートでも多くの若者の姿を見かけましたが、むやみに騒いだり、問題行動をとったりする者はいませんでした。他人に迷惑をかけないように配慮して過ごす姿勢は、今の若い人たちの特徴のような気がします。

2月2日(金) 9班(U・T) 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町諏訪神社 → 取出町ふれあい公園
→ 東田公園 → 高柳公園 → 城山公園 → 原公園 → 野沢児童館

補導の様子

生涯学習センターのつどいの広場では、高校生と思われる6人が勉強中でした。また、学習室でも11人ほどが机に向かっていました。今回は、公園を中心に巡回しました。原公園では、4人の小学3年生が四阿(あずまや)でゲームに興じていました。声をかけると、ゲームについては、時間を決めて遊んでいるとのことでした。また、親による制限やブロック(ペアレンタルコントロール)もあると、気さくに話してくれました。暦の上ではもうすぐ立春ですが、寒さのせいでしょうか、他の公園に人影はありませんでした。野沢児童館の2月の利用予定者は90人ほどで、実際の利用者は毎日60人から70人ほどのようです。寒い中、子どもたちの中には元気よく館の外で遊ぶ子もいました。

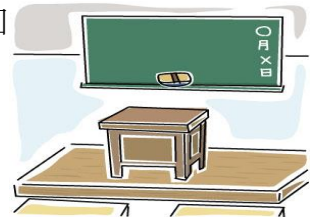
2月5日(月)

2班(K・T) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 佐久平駅付近

補導の様子

大雪警報中の巡回となりました。大型ゲームセンターには10人ほどがゲームを楽しんでいましたが、大雪の影響か客足はまばらでした。ゲームセンター、ネットカフェとも店内は閑散としており、店員の方も手持ち無沙汰なようすでした。午後4時を過ぎ、歩道にも積雪が目立ち始めました。足元を気にしながら下校する1人の中学生に目をやると、頭には白く雪が積もっていました。声かけはできませんでしたが、安全を祈りました。今回の巡回では、子どもたちに声かけする機会はありませんでした。



2月7日(水)

学校訪問(臼田小学校)

16班(I・K)

記

概要

2023年4月に4小学校が統合し開校した新臼田小学校に初めて学校訪問させていただきました。臼田小学校の校長先生と教頭先生、専門補導委員3名、補導委員2名の7名で会議を行ないました。臼田小学校から現在のようすを説明いただき、学校の状況がよくわかりました。その後、補導委員と専門補導委員からの質問など、なごやかに情報交換を行いました。学校目標は「一人一人が輝き(学びの個性化)、つながり(連携・協働)、未来を拓く(なりたい自分)」とのことでした。生徒指導上の問題では、交通事故や非行行動はないが、不登校児童は少なからずいるとお話いただきました。また、地域のコミュニティスクール推進委員の方々の協力により、教育活動を推進したり、多くの授業研修を取り入れたりしているとうかがい、地域と学校との連携や日頃の先生方の努力の姿を知ることができました。会議の後、新校舎を見学させていただきました。近代的な教育環境に感心するとともに、これからの児童の成長に期待が持てる気持ちになりました。これからもご指導よろしく願いいたします。お忙しい中ご対応いただきありがとうございますございました。

2月8日(木)

街頭啓発活動

4班(I・K)

記

概要

「信州あいさつ運動」の啓発活動として、大型商業施設前にてリーフレット、啓発用テッシュペーパー等を配布しながら、あいさつ・呼びかけを行った。子ども連れの親子などは、笑顔を交えて足を止めてくれた。“あいさつ”は全世代共通の大切なコミュニケーションであるが、昨今の小・中・高校生などの世代は活発にあいさつが出来ているように感じています。

2月9日(金)

3班(K・K)

記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

補導の様子

暗いニュースが続いていますが、街頭補導活動をしていると明るい場面にも出会います。2月5日から降った雪で、市民交流ひろばは、まだ雪が残っていました。まず出会ったのは、雪だるまの前で遊んだり、写真を撮ったりしている父親

と母親とその子どもでした。また、その横にある椅子に座っている中年男性は、ギターを弾きながら張りのある声で歌っていました。宮沢賢治の看板が立っている植物園では、植木の剪定をしている方がいました。春には、訪れた多くの人を和ませてくれることと思います。公務員を退職された方が、社会貢献活動の一環として行っているとのことで、縁の下の力持ちといえる活動だと思います。ミレニウムパークのプレイサークルでは、中学生2人がバスケットボールに興じており、あいさつにこたえてくれました。ボールが地面に落ちると、弾むことなく、雪の中にズボッと収まったままでしたが、それでも楽しそうにしていました。佐久平駅の階段を上がって行くと、「地域の絆で防ごう 特殊詐欺」と毛筆で書かれた横断幕が目に入りました。佐久防犯協会連合会とともに佐久平総合技術高校書道部と書かれていました。高校生も頑張ってくれており、嬉しくなりました。大型スーパー内のゲームコーナーなどを巡回して終了しましたが、とても明るい気持ちにさせてもらえた街頭補導活動でした。

2月13日(火)

10班(S・T) 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園 → 生涯学習センター
補導の様子

先週降った雪がまだ残っていたが、晴れて温かい中での活動でした。巡回中、小・中・高校生にはほとんど出会うず、公園で数人に出会った程度でした。原公園では、四阿(あずまや)でゲームに夢中になっている小学生が数人いました。声かけしたところ、「家では、ゲームをする時間を決めてある。約束を守っている」と話してくれました。話をしている時、ゲームに夢中になっていて、ゲームをしながら質問にも答えていました。この他に雪合戦や木登りをしている小学生がおり、昔ながらの子どもらしい遊びをしている姿が見られました。

2月14日(水)

14班(T・T) 記

巡回経路 中込駅 → 中込中学校 → 中込駅駐輪場 → 成知公園
→ 学童保育 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園 → 中込駅
補導の様子

久しぶりに中込中学校に行くと、下校の時間帯でもあったので、正門の所で何人かの生徒が雪投げをしていました。川原でも生徒が雪を丸めて川に投げ込んで遊んでいました。成知公園では、高校生と小学生に声をかけると、2人の高校生の一人は大学が決まり、もう一人は結果待ちと話してくれました。小学校6年生は、4月から佐久長聖中学校に電車で通学すると楽しそうに話してくれました。学童保育には、26人の利用者が来ているとお聞きしました。今日はバレンタインデーということで、職員がおやつにチョコレートを作り、児童がそれをおやつとして食べるという話をお聞きしている時、チョコレートを口のまわりに付けた子どもが出入口に出てきました。



2月15日(木)

18班(M・Y) 記

巡回経路 浅科支所 → あさしな児童館 → 浅科図書館 → 道の駅 → 浅科支所
補導の様子

あさしな児童館では、30名弱の児童が来ていた。遊戯室では、4名ほどが一輪車の練習を一生懸命にやっていた。図書室では、6名ほどが談笑しながら読書

をしていた。クッキングルームで真剣に勉強している児童もいた。浅科小学校では、感染症のため、学級閉鎖しているクラスもあり、今日の児童館利用者は少ないとのことだった。利用児童は多い日は、70名くらいが来るとのこと、職員4名では大変な時もあるとのこと。浅科図書館には、保護者と子どもが3組いて、読み聞かせをしていた。道の駅には、休憩スペースにマンガ本が置かれており、時々高校生が立ち寄るとのことだった。

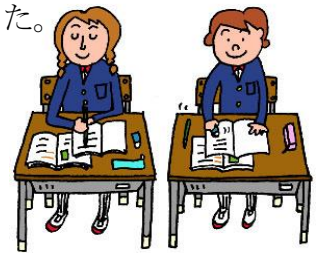
2月16日（金）

17班（S・Y） 記

巡回経路 臼田交番 → 明神坂 → 北川工業団地 → コスモホール
→ 臼田児童館 → 下の宮公園 → 臼田交番

補導の様子

連日の寒い状況から一転、暖かい日差しの中での巡回となった。まず、北川地区の明神坂を上がり、数年前に不審者の事案があった場所へ行ったが異常なく通り過ぎた。現在、小中学生の通学路にはなっていない様子である。続いて、コスモホールへ行くと、子どもたちの声が聞こえてきた。声かけしたところ、本日は小学校高学年の参観日ということで、親を待つ子4名の児童がおり、その傍らでは、計画して集まりサッカーをする男児5名がいた。明るく対応し、のびのびと楽しんでいた。その後、臼田児童館を訪問、車中より下の宮公園を見回した。公園で3名の女兒が楽しそうに遊ぶ姿を見つ、臼田交番に帰った。



2月19日（月）

11班（T・T） 記

巡回経路 生涯学習センター → 原公園 → 城山公園
→ 泉児童館 → 泉団地 → 生涯学習センター

補導の様子

生涯学習センターには、受験シーズンらしく中・高校生20~30名ほどが、学習室で熱心に学習する姿が見られた。いつもとは違う雰囲気ですぐに驚いた。原公園は、寒さのせいかな人影はなかった。城山公園には、4人の小学生が自転車で来ていた。おのおのゲーム機を持ち寄り、対戦ゲームに興じていた。こちらからの声かけに明るく対応してくれた。泉児童館は、40名ほどの児童が利用しており、みんな元気よく遊んだり、宿題をしたりして過ごしていた。泉団地に足を伸ばしたが、子どもたちの姿を見かけることはなかった。

2月20日（火）

5班（I・T） 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → 佐久平駅 → プラザ佐久
→ 大型スーパー内ゲームコーナー・フードコート

補導の様子

今年の2月は暖かい日が続き、本日も昼間は15℃と心地よく、風は無風で、市民交流ひろばでは、遊具の不具合修理が終わり、たくさんの親子連れが遊んでいた。大型スーパー内のフードコートでは、高校3年生がテーブルを囲みゲームをしているかと思う一方では、タブレットを開き画面の向こうの先生と勉強している高校生もいた。高校生のギャップが見られた巡回となりました。

2月21日(水)

7班(S・H) 記

巡回経路 浅間会館 → 平根児童館 → 下平尾公民館
→ 下平尾地籍の交通事故現場 → 東児童館 → 浅間会館

補導の様子

主に平根児童館と東児童館を訪問しました。両児童館とも20名前後の児童が利用していました。当日は雨ということもあり、外のグラウンドは利用出来ないため、体育館や図書スペース等を利用して、児童は一輪車・ドッジボール・読書などをしていました。大きな声であいさつしてくれたり、スリッパを用意してくれたりする子どもや子どもたちでルールを決めて遊んでいる姿が印象的でした。



2月22日(木)

12班(A・M) 記

巡回経路 生涯学習センター → 取出町ふれあい公園
→ 旧大沢小学校 → 旧前山小学校跡 → 城山公園
→ 原公園 → 中嶋公園 → 生涯学習センター

補導の様子

昨日から雨も午後には上がり、寒い日の巡回であった。生涯学習センターは、入口のロビーや学習室には小学生・中学生・高校生が数多く利用していました。取出町ふれあい公園の後、旧大沢小学校を巡回しましたが、昭和の時代に戻ったような気がしました。また、旧前山小学校の跡地には建物はなく、グラウンドだけが残っていました。城山公園は、小学生4人がいました。寒い中ゲーム機で遊んでいました。原公園には子どもの姿はありませんでした。トイレの中は凍結防止のためなのか、暖房が効いていました。中嶋公園内の木々には樹氷がつき、普段目にする事ができない景色でした。

2月26日(月)

15班(S・N) 記

巡回経路 中込駅 → 成田公園 → 橋場公園 → 水上公園 → 平賀新町公園
→ 佐久城山児童館 → 佐久城山小学校 → 内山地区

補導の様子

昨日降った雪が日陰にまだ残っており、風が冷たく感じる日であった。各公園には雪はなかったが、人影もなくひっそりしていた。佐久城山児童館は、今日は低学年の児童65人が児童館と小学校の一室に分かれて利用しているとのことだった。庭で7~8人が遊んでいて、館内では、ボールやコマ回しをして、活発に動いている児童や本を読んでいる児童もいて、それぞれが楽しく過ごしていた。午後4時ごろには、校舎から出てきた多くの児童が、スクールバス・迎いの車や徒歩で帰路に着くところであった。校舎内も見学させてもらったが、廊下はきれいに清掃されて、室内も整頓されており気持ちよかった。今日は多くの元気な子どもたちにも会えて、とても清々しい日であった。

2月27日(火)

19班(U・S) 記

巡回経路 望月支所 → 望月図書館 → 若駒児童公園 → 望月児童館
→ 佐久良公園 → 望月バスターミナル → 望月支所

補導の様子

いよいよ春到来かと思うような日が続いたかと思うと真冬に逆戻りし、寒く

雪景色の日が続いています。流石に子どもたちも、この極寒の中、各公園にその姿はありませんでした。望月児童館の屋内には、30名ほどの子どもたちが、読書・積み木・コマ回し・卓球・ボール遊びと趣向を凝らして取り組んでおり、全身からの熱気が感じられ、目の輝きから真剣さがうかがえました。私もコマ回しに挑戦させてもらいましたが、……失敗……。あまりにも久しぶりなため、真剣さも違います。これほど輝き、熱中できるのかと、何か忘れていたものを思い出させてもらったような気分になりました。



2月28日(水)

6班(K・M) 記

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー内ゲームコーナー

補導の様子

雪の降る日もあって、まだまだ寒い日が続きます。今日は、水曜日ですので、子どもたちにはあまり会えないだろうなと思いながら巡回を開始しました。大型スーパーから市民交流ひろばに抜けると、6人ほどの小学生が通学用のカバンをベンチに放置して雪投げなどをして遊んでいました。声かけすると「遊びながら親の迎えを待っている」とのことでした。また、カバンの中に貴重品が入っていないか聞くと「財布が入っている」とのことでしたので、「盗まれないように気をつけてね」と注意喚起しました。広場を抜けてミレニアムパークのプレイサークルに来ると、バスケットボールコートで12人ほどの小学生が3×3(スリー・エックス・スリー)のゲームに熱中していました。この場所はいつも人気スポットになっています。隣のエリアでは、2人の高校生が、自転車の手入れをしていました。このうちの一人は「3月に高校を卒業しますが、東京のホテルに就職し、高校で学んだフラワーアレンジメントの仕事をします」と目を輝かせながら話してくれました。小海線佐久平駅には帰宅に向かう高校生らが大勢いました。参考書やスマホに目をやり、とても静かでした。大型スーパー内のフードコートには、一般人に交じって多くの高校生がいました。

2月29日(木)

8班(N・H) 記

巡回経路 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター
→ 平根児童館 → 紅雲台公園 → 大型ゲームセンター

補導の様子

今にも雪が落ちてきそうな肌寒い日だった。大型ゲームセンターのお客は、数人の成人のみで閑散としていた。ネットカフェは2部屋程使用されていただけだった。隣のゲームセンターでも成人が数名いるのみだった。平根児童館は20名以上の児童で賑わっていた。積み木のドミノ倒しでは、「うまく並べて、倒すのが面白い」と屈託なく話してくれた。ピアノは、交代で弾いていた。グラウンドでは、寒さにもかかわらずサッカーボールを蹴って遊んでいた。今日来館している児童は、1・2年生だけとのことだった。最近の利用状況をお聞きすると「1・2年生が中心で、たまに3・4年生が来るが、5・6年生はほとんど来ない」とのことだった。玄関の掲示板には職員と児童が作った折り紙のひな人形が飾ってあり、季節感があって面白いと感じた。紅雲台公園は、いつもなら多くの親子の姿が見られるが、まったく人影はなかった。

＜2月の補導を終わって。 専門補導委員 Y・K＞

【令和4年度2月の補導活動】の巻末【2月の補導を終わって 専門補導委員】を見る機会がありました。その中に

今冬は『最強寒波の襲来』とも言われ、寒さ厳しい冬だったと感じました……

3月に入り『満作』『蠟梅』『白梅』『水仙』等の美しい花が次々と咲き、佐久平によりやく春が訪れました……

という文面がありました。今年は、3月中旬になっても、日陰には残雪があり、溶けた雪の間から、オオイヌノフグリが紫の花を咲かせ春を告げていますが、ほかの花は自分の出番を今か今かと心待ちにしているように感じられるこの頃です。

さて、今年度も残りわずかとなりましたが、通常の街頭補導活動のほか

2月7日 学校訪問 (臼田小学校) 16班

2月8日 街頭啓発活動 (大型スーパー) 4班

3月8日 第5回少年センター補導委員協議会理事会 理事

が実施(開催)されました。

理事会では、

令和5年度 青少年補導活動事業報告

令和6年度 青少年補導活動事業計画(案)

について協議していただきました。また、事務局の連絡事項の中で

「補導日誌(令和6年度からは名称が『活動日誌』に変更)の様式変更」について説明がありました。4月から新様式となりますが、内容としては大きな変更はありません。記載要領については、4月以降の街頭補導活動に参加された際、補導委員の皆様にお知らせさせていただきます。

ところで、補導委員の皆様と一緒に「街頭補導活動」「学校訪問」「啓発活動」等を行っている専門補導委員ですが、これらの活動のほかに「有害環境チェック活動」も実施しています。「有害環境チェック活動」は青少年の有害となりえる環境のある店舗や青少年が立ち寄ることの多い店舗を巡回して、非行防止への配慮状況を点検するとともに、青少年が健全に育成できる環境や声かけなどをお願いする活動です。

現在、佐久市内には、200を超える店舗が「青少年健全育成協力店」の趣旨に賛同していただき、協力店になっていただいています。この「有害環境チェック活動」で、ある店舗を訪問した時のことです。経営者にお会いし、青少年の健全育成に関し、これまでの協力に対してのお礼と今後もこれまで同様の協力をお願いしました。この時、この方は「私は、子どもの下校時間帯にはできるだけお店の外に出て子どもたちに声をかけています。良いあいさつができる子が多いですよ。下校時には『お帰り』と声をかけると『ただいま』と返してくれます。今では、自分の孫のように感じています」と話してくださいました。

このようなお話を聞いた数日後、「金を奪う目的で男子大学生を脅し、ビルから転落死させたとして中学生3人が逮捕された」「小6男児が同級生に『水族館のメダルを大手貴金属店で作った特注品』と虚偽事実を言われ、93万円を騙し取られた」とびっくりするニュースが報道されていました。

『子どもは社会の宝・地域の宝』と言われていています。青少年は地域社会からはぐくむという観点に立ち、次代を担う青少年が心身ともに健全にたくましく成長するよう、これからも積極的な活動をお願いいたします。

